

I. 令和5年度事業報告

1. 事業の概要

「稲・麦類・大豆生産振興方針」に基づき、関係機関・団体と連携し、優良種子の生産と安定供給及び品質の向上に取り組みました。特に稲においては、令和6年産からの飼料用米助成金の見直しによる種子需給の急変に備え、飼料用米多収品種(夢あおば・月の光)の種子生産に取り組みました。更に、混種事故防止対策および発芽率確保については、最重点実施事項として取り組みました。

一方、種子場農協及び関係機関・団体等と連携し、稲・麦類・大豆の種子生産供給体制の維持・発展に取り組みました。

2. 主要農作物の県内作柄概況

(1) 稲

7月後半から8月にかけて非常に暑く、夏の平均気温は1989年の統計開始以降、最も高くなり出穂期以降の高温・多照により登熟歩合・千粒重が増加し作況指数は、104の「やや良」となりました。品質面では高温登熟障害等の影響を受け、白未熟粒・カメムシによる着色粒により品質が低下し、1等比率は前年産(93.1%)を下回り84.2%となりました。

(2) 麦類

播種作業は、天候に恵まれ平年並みに行われました。年明け後は、小雨傾向で乾燥したことや強い低温傾向で生育はやや停滞気味でしたが、3月以降は気温が高く生育は回復し、茎数も平年を上回りました。収量は、二条大麦は「やや良」、六条大麦は「平年並みからやや不良」、小麦全体では「平年並み」でしたがタマイズミは収穫時期の高温と連続降雨により穂発芽が発生しました。

(3) 大豆

播種作業は、平年並みに行われ、苗立ちも概ね良好でした。開花は7月末より始まり7月下旬は高温・乾燥、8月以降は高温であったため落花が懸念されたが大きな影響はなく莢着きは平年並みでした。品質面では、開花期前後の高温・乾燥もあり、不稔や落莢が発生しました。収量は、開花期の高温乾燥等の影響が大きく小粒傾向となり「やや不良」となりました。

3. 事業の実施状況

(1) 優良種子の安定生産と供給

1) 優良種子の生産

稲・麦類・大豆の種子の生産実績は下表のとおりです。

単位：ha. t. %

	種 類	採種ほ面積	契約数量①	生産数量②	②／①
稲	水 稲(6)	3 3 4	1, 3 7 3	1, 4 7 8	1 0 8
	飼料用(2)	1 0 0	5 2 2	6 2 7	1 2 0
	合 計(8)	4 3 4	1, 8 9 5	2, 1 0 5	1 1 1
麦	六条大麦(1)	4 4	1 1 0	1 3 3	1 2 1
	二条大麦(2)	2 1 8	7 1 0	7 4 5	1 0 5
	小 麦(4)	5 3	1 7 0	1 6 8	9 9
	合 計(7)	3 1 5	9 9 1	1, 0 4 6	1 0 6
大豆 (1)		3 8	6 8	6 3	9 3

() は品種数

2) 飼料用米多収品種の種子確保

令和6年度からの国の交付金制度改正に対応するため、県の飼料作物推奨品種「夢あおば」と認定品種「月の光」の種子生産に取り組みました。

品 種	採種ほ面積	契約数量①	生産数量②	②／①
夢あおば (奨励品種)	6 6	3 7 2	4 1 7	1 1 2
月の光 (認定品種)	3 4	1 5 0	2 1 0	1 4 0

3) 生育状況の確認

立会者として、ほ場確認に延べ66人日、下見指導に21人日、及び検査等（生産物確認・農産物検査）に43人日出役しました。

4) 事故対策

①種子GAPや異品種混入防止チェックシートの配付、種子生産者の1品種作付推進、収穫等機械の共同利用推進、原種専用ネットの使用推進などコンタミ事故防止の徹底に取り組みました。

②供給する稲種子の純粋性を確認するためのDNA調査を各種子場農協からサンプル採種し民間検査機関に分析を依頼、いずれも純粋性を確認しました。
(原料荷受段階 58 点、製品調製段階等 25 点、合計 83 点)

③事故処理費の収支状況は下表のとおりです。

預かり期間中（1年未満）に事故の発生がなければ全額を返金いたします。

(単位：円)

費用負担 (種子生産者)	収入金額 ①	支出金額 ②	預り金 ①－②	費用負担 対象数量	返金 時期
稲・麦・大豆 各 1 円/k g	3,214,795	0	3,214,795	稲：1,046,305kg 麦：2,102,700kg 大豆：65,790kg	R7.2 R6.8 R7.3

5) 受検対策

米の受検対策会議（令和5年7月14日）を開催し、品質管理の徹底や地域の検査協力体制の確立を推進しました。特に、品質向上では適期収穫、高温時の適切な水管理による腹白米・胴割れ米の発生抑制、過乾燥米の発生防止等を指導しました。

* 米受検対策資料：「お米は大切な商品です」 39,100枚

6) 種子の需給調整

①優良種子の安定供給

(稲種子) 契約数量を不足なく供給できました。

(麦類種子) 小麦の生産数量は契約数量を若干下回りましたが、備蓄種子及び転用の活用により不足なく供給できました。

(大豆種子) 契約数量を下回りましたが、備蓄種子及び転用の活用により不足なく供給できました。

②種子の備蓄

・県の災害対策種子確保事業を活用し、下表の備蓄を行いました。

(災害対策種子確保事業の備蓄実績)

品種	数量	年産	保管期間	保管場所
なすひかり	20 t	4	令和5年4月1日 ～令和6年1月31日	JAグリーンとちぎ 中央物流センター
とちぎの星	70 t	4	同上	同上

- ・ J A全農とちぎが所有する稲・麦類の備蓄種子の発芽試験を支援し、発芽率が種苗法に規定した基準以上であることを確認し、チラシ等を作成・配付しました。
(備蓄種子チラシ)

- * 備蓄種子もみ供給チラシ 23,400枚
- * 備蓄種子麦類供給チラシ 3,400枚

③消毒水稻種子の供給

水稻ばか苗病、いもち病等の予防対策として、消毒水稻種子を下表のとおり供給しました。

令和6年産用水稻種子供給数量 ①	令和6年産用消毒水稻種子供給数量 ②	消毒供給シェア ① / ②
1,476t	674t	46%

④残量処理費と費用負担

- ・ 残量処理費の収支状況は下表のとおりです。残余金は次年度に繰越します。

(単位:円)

費用負担 (種子購入者)	収入金額 ①	支出金額 ②	単年度収支 ③ (①-②)	前年度 繰越金④	次年度 繰越金⑤ (④+③)
稲 10円/kg 麦 10円/kg 大豆 10円/kg	27,538,533	27,459,412	79,121	2,133,597	2,212,718

※収入金額①：負担金（稲・麦・大豆）の合計27,537,360円＋預金利息1,173円

(残量処理内訳)

項目	処理数量 (kg)	平均負担単価 (円/kg)	支出金額 (円)
過年産稲種子処理(H29~R3)	67,849	259	21,659,446
夢あおば処理(R5)	44,840	94	4,369,064
育苗センター助成(R4)	60,420	22	1,430,902
合計	173,109		27,459,412

- ・残量処理対象の種子もみについては121 t（R5. 10. 30 時点）でしたが、令和5年度に68 tを処理し53 tとなりました。また、新たに処理対象となる種子もみは、22 tが見込まれていますので、現在の残量処理の対象となる種子もみは75 tとなっています。

※夢あおば処理済45 t 除く

令和5年度	現在 (R6.6)
121 t - 68 t = 53 t	53 t + 22 t = 75 t
↑ 処理済	↑ 新たな処理対象

7) 種子生産技術の向上

- ①各種子場農協や部会に対して県・関係団体の協力を得ながら研修会等を開催するとともに、関係機関協力の下、採種技術平準化や生産管理指導研修会等を開催しました。

会議・研修会	実施時期	備考
稲種子消毒計画会議	令和5年 5月25日	
麦類種子調製程度確認会	令和5年 6月22日	
種子品質向上研修会	令和5年 7月27日 ～7月28日	神奈川県
稲種子調製程度確認会	令和5年10月 3日	
大豆種子調製程度確認会	令和5年11月27日	
種子生産研修会	令和6年 2月15日 ～2月16日	日光市

- ②採種体制の強化と優良種子確保のため「種子場農協交付金」、「稲こうじ病防除助成金」等を種子場農協に助成しました。

- ③採種農家の技術の高位平準化を図るため技術資料を作成し配付しました。

- * 稲種子異品種（コンタミ）混入防止チェックリスト 330枚
- * 種子もみ枝梗対策チラシ 370枚
- * 種子大豆紫斑病・べと病防除チラシ 80枚
- * 飼料用米夢あおば種子栽培暦 50枚
- * 種子GAP生産者チェックシート データ配信
- * 種子栽培履歴報告書 データ配信

④「優良種子生産部会表彰基準」に則り4部会を表彰しました。

稲種子の部：下野農業協同組合 採種部会
麦類種子の部：小山農業協同組合 小麦種子部会
大豆種子の部：那須野農業協同組合 今泉大豆集団栽培組合
那須南農業協同組合 種子大豆生産部会

8) 消費者・実需者から選ばれる主要農作物の生産と品質改善対策事業

《作付け及び品質改善対策》

稲・麦類・大豆にて各々、一般生産者向けチラシを作成し生産者への周知徹底を図りました。

① 稲では、発芽に大きく影響する種子粃の浸種について注意を喚起しました。

* 種子粃浸種留意点：「浸種水温は10～15℃（13℃前後）で！」チラシ
27,000枚

② 麦類では、適切な収穫・乾燥・調製のポイントを指導しました。

* 適期収穫が決め手！（良質麦の安定生産を）チラシ 5,100枚

③ 大豆では、「里のほほえみ」の栽培指導をしました。

* 「里のほほえみ」の栽培ポイント（準種子・備蓄種子）チラシ
1,400枚

《栽培技術指導》

地域特性に応じたきめ細やかな栽培管理・品質改善対策を推進するため、各地方農業振興協議会が実施する各種講習会を助成しました。

9) 広報活動

情報紙「とちぎ米麦改良」の発行（3回／年）

ホームページによるタイムリーな情報提供（随時）

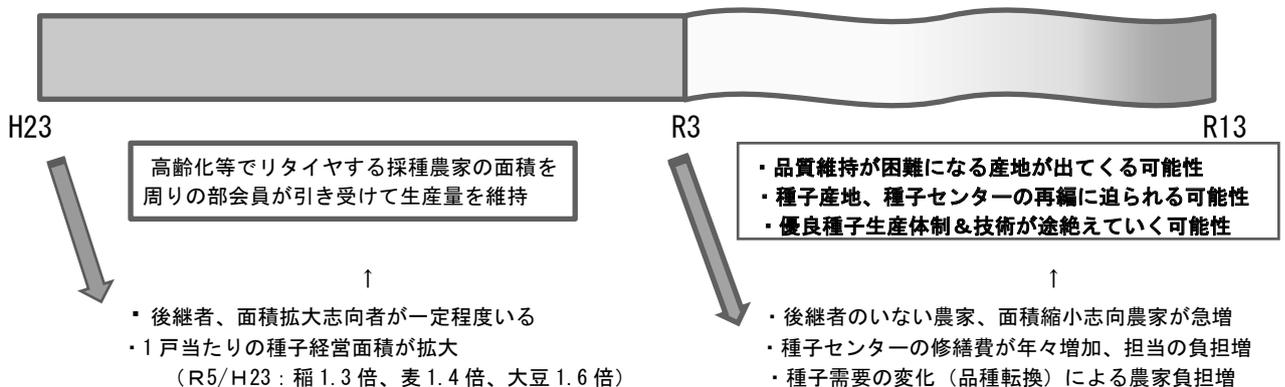


JA おやまビール大麦採種部会 五十畑一郎 氏圃場

(2) 種子生産体制の強化

① 現状分析

- ・ 種子生産者の全戸アンケート調査（平成 23 年・令和 3 年）の分析を行うとともに、種子場 JA 担当者・種子センター担当者の聞き取り調査を実施（令和 5 年）しました。
- ・ その結果、今後の 10 年は、過去のように「高齢化等でリタイヤする採種農家の面積を周りの部会員が引き受けて生産量を維持することが困難」となり、「品質維持が困難になる産地が出てくるり、種子産地、種子センターの再編が必要となる、優良種子生産体制&技術が途絶えていく等の予測が出てきました。



② 考えられる対応（他県の事例等）と課題整理を進めました。

(経営)

- ・ 全国に誇る優良種子生産体制&技術の次世代継承 : 具体策の明示（事例調査等）
- ・ 生産者手取りの確保 : 種子購入者への価格転嫁（値上がり）
- ・ 種子場の品種再編 : 品種転換を機にリタイヤ

(施設)

- ・ 計画的な修繕と財源確保 : 所管 JA への負担過重
- ・ 調製施設の人材確保・育成（知識、経験） : 限られた人材、予算の中
- ・ 種子センターの広域利用 : 責任体制の明確化（コンタミリスク等）
- ・ 広域種子センター新設 : 事業主体、運営主体、利用料金高騰

③ 部会役員に問題提起（展望の是非も含め）をし、分科会で意見交換（R6.2.15）を行いました。

4. 主要行事内容（令和5年4月～令和6年3月）

月日	場所	内容
4	14～	各種子場JA 令和5年産麦類採種ほ場確認会出席
	20	コンセーレ 栃木県農産物検査協議会第23回通常総会出席
	27	栃木県 JA ビル 令和5年度種子生産JA取扱会議開催
5	10	総合文化センター 令和5年度栃木県農業再生協議会通常総会出席
	19、23	農業試験場 令和5年産麦類原種立毛検討会出席
	25	栃木県 JA ビル 令和6年産用稲種子消毒計画会議開催
	29～	各種子場JA 令和5年産麦類種子下見指導会出席
	30～	栃木県 JA ビル 令和4年度定期監査
6	2	栃木県 JA ビル 備蓄麦類種子発芽試験実施
	8	栃木県 JA ビル (公社)栃木県米麦改良協会第1回幹事・事務局員会議開催
	13	栃木県 JA ビル (公社)栃木県米麦改良協会第1回理事会開催
	16	東京都 (一社)全国米麦改良定時総会出席
	22	栃木県 JA ビル 令和5年産麦類種子調製程度確認会開催
	26～	各種子場JA 令和5年産麦類種子検査立会
	30	栃木県 JA ビル (公社)栃木県米麦改良協会第39回通常総会開催
	30	栃木県 JA ビル (公社)栃木県米麦改良協会第2回理事会開催(書面)
7	14	栃木県 JA ビル 令和5年産米受検対策会議開催
	27～28	神奈川県 種子品質向上研修会(部会役員研修会)開催
	31～	各種子場JA 令和5年産稲採種ほ場確認会出席
8	10～	各種子場JA 令和5年産大豆採種ほ場確認会出席
	30	高根沢・黒磯農場 令和5年産稲・大豆原種立毛検討会出席
9	6	栃木県 JA ビル 稲麦類及び大豆の種子価格検討会議(麦類)開催
	6	栃木県 JA ビル 令和6年産麦類種子生産ほ場設置計画会議開催
	13～	各種子場JA 令和5年産稲種子下見指導会出席
	20	栃木農場 令和5年産稲・大豆原種立毛検討会出席
10	3	栃木県 JA ビル 栃木県農業試験場麦類専門検討会出席(WEB)
	3	栃木県 JA ビル 令和5年産稲種子調製程度確認会開催
	6	栃木県庁 令和6年産麦類原種生産計画会議
	16～	栃木県 JA ビル 備蓄稲種子発芽試験実施
	25～	各種子場JA 令和5年産稲種子検査立会出席

月 日	場 所	内 容	
11	17	栃木県 JA ビル	(公社)栃木県米麦改良協会第2回幹事・事務局員会議開催
	27	栃木県 JA ビル	令和5年産大豆種子調製程度確認会開催
	30	栃木県 JA ビル	(公社)栃木県米麦改良協会第3回理事会開催
12	8	栃木県 JA ビル	稲、麦類及び大豆の種子価格検討会議(稲)開催
	8	栃木県 JA ビル	令和6年産稲種子生産ほ場設置計画会議開催
	11～	各種子場JA	令和5年産大豆種子下見指導会出席
	14	高根沢原種農場	令和5年産稲・大豆原原種・原種調製程度目合会出席
	21～	各種子場JA	令和5年産大豆種子検査立会出席
2	15～16	ホテル三日月	種子生産研修会(分科会)開催
3	6	栃木県 JA ビル	(公社)栃木県米麦改良協会第3回幹事・事務局員会議開催
	15	栃木県 JA ビル	(公社)栃木県米麦改良協会第4回理事会開催
	26	栃木県 JA ビル	(公社)栃木県米麦改良協会第28回臨時総会開催

5. 会議の開催

(1) 総会

区 分	総会日現在 会 員 数	出 席 者			主要な議事とその議決
		本人	書面	計	
通常総会 R 5.6.30	34	21	13	34	1. 4年度事業報告及び収支決算の承認について 2. 役員を選任について 3. 顧問の推たいについて (全議案原案どおり議決)
臨時総会 R 6.3.26	33	19	14	33	1. 6年度事業計画並びに収支予算の承認について 2. 6年度会費並びに徴収方法の決定について 3. 6年度借入金最高限度額について 4. 6年度役員報酬額について (全議案原案どおり議決)

(2) 理事会

区 分	理事数	出 席 者			主要な議事とその議決
		本人	書面	計	
第1回 R 5.6.13	13	11		11	1. 通常総会の開催について 2. 4年度事業報告及び収支決算の承認について 3. 役員を選任について 4. 顧問の推たいについて 5. 参与の推薦について (全議案原案どおり議決) 6. 報告事項 ① 5年産稲種子生産者価格の決定について ② 5年産大豆種子生産者価格の決定について ③ 飼料用米多収品種の種子について
第2回(書 面) R 5.6.30	13		13	13	1. 代表理事副会長の選任について (原案どおり議決)

第3回 R5.11.30	13	11	11	1. 5年度残量処理計画について (原案どおり議決) 2. 報告事項 ① 5年度上期事業報告について ② 5年産麦種子生産実績及び6年産用需給状況 ③ 6年産用麦種子生産計画 ④ 6年産麦種子生産者価格 ⑤ 4年産種子事故処理負担金 ⑥ 5年産種子事故処理負担金 ⑦ 令和6年産用稲種子需給状況
第4回 R6.3.15	13	12	12	1. 臨時総会の開催について 2. 臨時総会提出議案について 3. 常務理事の月額報酬について (全議案原案どおり議決) 4. 報告事項 ① 5年産稲種子生産実績及び需要状況 ② 5年産大豆種子生産実績及び需要状況 ③ 6年産稲種子生産計画 ④ 5年度事業報告 ⑤ 会員の退会

(3) 監査

区 分	監事数	出 席 者			主要な議事とその議決
		本人	書面	計	
R5.5.30	2	2		2	1. 4年度事業報告・収支決算等監査

6. 附属明細書

(1) 令和5年産稻種子生産実績

(2) 令和5年産麦類種子生産実績

(3) 令和5年産大豆種子生産実績

(4) 令和6年産用稻種子需給状況

(5) 令和6年産用麦類種子需給状況

(6) 令和6年産用大豆種子需給状況

(1) 令和5年産稲種子生産実績

令和6年2月26日現在

品種名	J A 名	面積 (ha)	契約 (t)	実績 (t)	対比 (%)	合格 消毒 (t)	合格 未消毒 (t)	準 消毒 (t)	準 未消毒 (t)	※売上金額 税別 (百万円)
コシヒカリ	なすの	156	623	623	100	290	333	0	0	214
	なす南	66	265	265	100	210	54	0	0	91
	小計	222	888	888	100	500	388	0	0	305
あさひの夢	しもつけ	33	146	146	100	41	105	0	0	50
なすひかり	しおのや	11	43	43	100	0	43	0	0	15
とちぎの星	しもつけ	32	140	177	126	70	107	0	0	61
	はが野	32	140	207	148	64	143	0	0	71
	小計	64	280	383	137	133	250	0	0	132
夢ささら	なすの	0.3	1.2	1.2	100	0.0	1.2	0	0	0.4
水稻うるち計		330	1,358	1,462	108	674	787	0	0	502
きぬはなもち	しもつけ	4	14	14	100	0	14	0	0	5
水稻もち計		4	14	14	100	0	14	0	0	5
夢あおば (飼料用米多収品種)	しもつけ	66	372	417	112	0	417	0	0	109
月の光 (飼料用米多収品種)	なすの	34	150	210	140	0	210	0	0	60
飼料用米多収品種計		100	522	627	120	0	627	0	0	169
水 稻 計		334	1,894	2,103	111	674	1,428	0	0	676

※売上金額:生産実績数量に種子生産者価格を乗じた。

(有機栽培種子)

品種名	法人名	面積 (ha)	契約 (t)	実績 (t)	対比 (%)	合格 未消毒 (t)	備 考
コシヒカリ	民間稲作	1.0	1.3	1.7	129	1.7	NPO法人(上三川町)

(2) 令和5年産麦類種子生産実績

種 類	品種名	J A 名	面積 (ha)	契約 (t)	実績 (t)	対比 (%)	合格 未消毒	Ⓢ種子	※売上金額 税別
							(t)	(t)	(百万円)
二条大麦	ニューサチホ ゴールデン	なすの	38	124	130	105	130	0	35
		しもつけ	99	322	338	105	338	0	90
		おやま	76	247	259	105	243	16	69
		小計	213	692	727	105	710	16	194
	とちのいぶき	はが野	5	18	18	100	18	0	5
二条大麦計			218	710	745	105	728	16	198
六条大麦	シュンライ	なす南	44	110	133	121	0	133	34
	六条大麦計			44	110	133	121	0	133
小麦	さとのそら	足利	15	55	60	110	55	5	16
	イワイノダイチ	おやま	11	35	35	100	35	0	9
	タマイズミ	おやま	16	51	51	100	51	0	14
	ゆめかおり	しおのや	12	29	22	76	14	8	8
小麦計			53	170	168	99	156	13	48
計			315	991	1,046	106	884	162	281

※売上金額:生産実績数量に種子生産者価格を乗じた。

令和5年8月7日確定

(3) 令和5年産大豆(里のほほえみ)種子生産実績

JA名	面積 (ha)	契約 (t)	実績 (t)	対比 (%)	合格 (t)	準A (t)	準B (t)	※1 売上金額 税別 (百万円)
なすの (大田原)	13	23	25	98	5 19%	18 70%	3 11%	14
なすの (黒磯)	9	16	20	128	0 0%	20 100%	0 0%	11
なすの (黒羽)	6	11	5	50	3 53%	1 26%	1 22%	3
なすの 計	27	49	48	97	8 16%	39 81%	4 8%	28
なす南	10	18	15	84	3 17%	9 62%	3 21%	8
合 計	38	68	63	93	10 16%	48 77%	7 11%	36

※1 売上金額:生産実績数量に種子生産者価格を乗じた。

令和6年3月25日確定

(4) 令和6年産用稲種子需給状況

(令和6年4月末日現在)

(単位:t、%)

品種名	確保						需要	繰越		
	令和5年種子生産		備蓄 C	県外委託 D	転用 E	確保合計 ①=B+C+D+E		※ 需要見込 ②	繰越見込 ③=①-②	需要シェア率 ③/②(%)
	契約 A	実績 B								
水稲 うるち	コシヒカリ	888	888	279	0	0	1,167	883	284	32
	あさひの夢	146	146	133	0	0	279	224	55	25
	なすひかり	43	43	44	0	0	87	48	39	81
	とちぎの星	280	383	115	0	0	498	343	155	45
	夢ささら	1	1	1	0	0	2	1	1	59
	小計	1,358	1,462	572	0	0	2,033	1,499	535	36
水稲 もち	きぬはなもち	14	14	5	0	0	20	16	4	26
	小計	14	14	5	0	0	20	16	4	26
飼料用米 多収品種	夢あおば (飼料用米多収品種)	372	417	0	0	0	417	51	321 [処分45]	633
	月の光 (飼料用米多収品種)	150	210	0	0	0	210	108 (県内92 県外16)	102	94
	小計	522	627	0	0	0	627	159	423	266
合計		1,894	2,103	577	0	0	2,680	1,673	905	54

※ 需要見込②:JA全農とちぎが10月上旬で取りまとめた6年産用種子予約に本会が推定した当用申込、県外需要を加算した。

(5) 令和6年産用麦類種子需給状況

(令和6年4月末日現在)

(単位:t、%)

品種名	確保						需要	繰越	
	令和5年種子生産		備蓄 C	県外委託 D	転用 E	確保合計 ①=B+C+D+E		需要実績 ②	繰越 ③=①-②
	契約 A	実績 B							
ニューサテホゴールデン	213	727	142	0	0	869	〔県内655 県外 20〕 675	194	29
とちのいぶき	5	18	5	0	0	23	14	9	62
もち絹香(転用種子)	0	0	0	0	17	17	16	1	3
小計	218	745	148	0	17	910	706	204	94
シュンライ	44	133	5	8	0	146	123	23	19
小計	44	133	5	8	0	146	123	23	19
さとのそら	15	60	13	0	0	73	67	6	9
イワイノダイチ	11	35	0	0	0	35	〔県内31 県外 1〕 33	2	5
タマイズミ	16	51	19	0	0	71	54	17	32
ゆめかおり	12	22	2	0	8	32	27	5	16
小計	53	168	34	0	8	211	181	29	62
合計	315	1,046	187	8	25	1,266	1,011	256	25

(6) 令和6年産用大豆種子需給状況

(令和6年4月30日現在)

(単位:t、%)

品種名	確 保				需 要	繰 越		
	令和5年産種子生産		備蓄 C	※ 転用 D		確保合計 ①=B+C+D	繰越見込 ③=①-②	需要シェア率 ③/②
	契約 A	実績 B						
里のほほえみ	68	66	0.3	21	87	61	27	44

※転用D:5年産種子生産が契約未達のため、および6年産用以降の種子需要が高まることを踏まえ転用種子21tを確保した。

※需要見込②:JA全農とちぎが4月下旬で取りまとめた6年産用種子予約に本会が推定した当用申込を加算した。